



1page	年頭のごあいさつ	4page	畜産 GAP 講習会を開催
2page	第22回群馬県畜産共進会（繁殖和牛・乳牛の部）	5page	今年度開催予定の研修会情報
3page	第19回関東地区ホルスタイン共進会が本県にて開催	6page	浦和競馬場 畜産フェアを行いました 牛マルキンと豚マルキンが法制化
4page	馬飼養衛生基礎技術実習を開催	7page	価格安定事業の状況
		8page	南関東4競馬場開催日程



年頭のごあいさつ

公益社団法人群馬県畜産協会 会長 大澤憲一

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、すこやかな新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、平素から、本会の業務に対しまして、ご支援、ご協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

畜産の情勢は、ここ数年堅調に推移してきていた畜産物価格が、昨年より豚肉や鶏卵等で下降傾向になり、肥育牛も枝肉価格は前年並みを維持できているものの、高価格で導入した素牛の出荷を迎え、牛マルキン事業において補てん金が交付されるなど、畜産経営全体が不安定な時期に入りつつあります。

さらに、昨年12月30日にTPP11が発効し、今年2月には日欧EPAが発効するほか、アメリカとのTAG（物品貿易協定）交渉の開始など急速な貿易自由化の進展により、我が国畜産業の先行き不透明な状況は深刻さを増しております。

本県の畜産は、平成29年の産出額で1,123億円と、県農業産出額2,550億円の44.0パーセントを占めています。個別農産物順位でも豚が452億円で1位、生乳が232億円で2位、肉牛が153億円で5位、鶏卵が134億円で7位など、群馬県農業の基幹部門として、県農業の牽引役となっています。

今後も群馬県の畜産が維持・発展していくためには、安全・安心な畜産物の生産はもちろんのこと、消費者に喜ばれる食肉、鶏卵、ハチミツ等を作り出すとともに、今まで以上に飼養技術の向上、生産コストの削減等により、畜産基盤の強化等に取り組む必要があると考えます。

昨年は、西日本を襲った記録的な豪雨、連日の災害級酷暑、相次ぐ台風の襲来、北海道胆振地震等、非常に自然災害が多かった年で、農畜産物も多大な損害を被りました。さらに26年ぶりに国内で発生した豚コレラ、中国でのアフリカ豚コレラの蔓延等、養豚農家の不安が高まった年でもありました。

地球環境の変化が続くなか、今後も自然災害の増加が懸念されるとともに、海外からの家畜伝染病の侵入の可能性も高くなっていますので、今年は例年以上の「備え」が重要な年になると考えます。

本協会としては、本年も安定的な畜産経営を継続するための経営支援をはじめ、家畜・畜産物の価格安定対策、家畜や農場の衛生対策、消費者ニーズである安全な畜産物を提供する生産衛生の推進、畜産応援団を確保するための理解増進、畜産経営の人材確保など、群馬県畜産協会としての役割が十分に発揮できるように、関係各位との連携の下に全力で各種事業に取り組んで参りたいと存じます。

第22回群馬県畜産共進会（繁殖和牛・乳牛の部）

群馬県畜産試験場（前橋市富士見町）において、平成30年10月27日（土）に第22回群馬県畜産共進会・繁殖和牛の部が開催されました。

出品された計56頭5組（未經産28頭、経産28頭、群出品5組）について、体型や品位・資質等に関する（公社）全国和牛登録協会の審査標準に基づいた公正な審査が行われました。



名誉賞 出品者：高島大明
6部 しらね2715号

翌28日（日）には、乳牛の部が開催されました。同部では、未經産34頭、経産36頭の計70頭が出品されました。体型や乳用強健性、乳房等について（一社）日本ホルスタイン登録協会の審査標準に基づいた審査が行われました。



未經産 名誉賞 出品者：吾妻中央高等学校
3部 カゴキャプテン マックス クラツユ ヒル



経産 名誉賞 出品者：(株)長坂牧場
10部 ラブリーファーム SAB スター アタ-ヨツ

第19回関東地区ホルスタイン共進会が本県にて開催

平成30年11月20日～21日に、群馬県畜産試験場（前橋市富士見町）において、第19回関東地区ホルスタイン共進会が開催されました。本共進会は、1都6県より選出された各県の代表牛が一堂に会し、各県の乳牛改良のレベルを競い合うことを目的に開催され、大変活気溢れる共進会となりました。

本県からは、今号にも掲載した第22回群馬県畜産共進会・乳牛の部で優秀な成績を収めた16頭が出品され、全体として未經産38頭、経産59頭の計97頭が出品されました。

成績は16頭中9頭が優等賞に入るとともに、名誉賞3頭を受賞する等、群馬県の改良の成果が発揮される素晴らしい結果となりました。

今後も生産者と関係者が協力し、より良い牛作りができるよう、努力していききたいと思います。



名誉賞 出品者：吾妻中央高等学校
カゴ キアテン マックス クラツユ ヒメ



名誉賞 出品者：遠坂和仁
アイヒーズ ダツ



名誉賞 出品者：(有)KC 牧場
KCF アト ウッド イスマティツ

馬飼養衛生基礎技術実習を開催

馬飼養衛生管理技術の向上を図るため、平成30年11月7日（水）に日本中央競馬会（JRA）馬事部防疫課の岡野篤氏を講師として、馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました。

今年は県外の馬飼養者および関係者の方にもご案内したところ、県内外から多くの方にご参加いただきました。

午前中は群馬県畜産試験場研修棟にて「馬の防疫対策と運動器疾患について」と題しての講演会、午後は群馬県馬事公苑に場所を移して、馬を用いての実習が行われ、講演会、実習ともに跛行をメインに説明をしていただきました。

JRAの先生の話を知ることができる貴重な機会とあって、参加者は質問を交えながら熱心に話を聞いていました。



午前：講習会の様子



午後：実習の様子

畜産GAP講習会を開催

畜産GAPの普及推進を図るため、平成30年11月28日（水）に群馬県JAビルにて畜産GAP講習会を開催しました。

GAPとは、Good Agricultural Practiceの頭文字をとった言葉で、直訳すると「良い農業のやり方」という意味ですが、一般的には「農業生産工程管理」と呼ばれており、農業生産活動の持続性を確保するため、①食品安全・家畜衛生・環境保全・労働安全・アニマルウェルファに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、②これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取り組みのことです。



講師の森永美夫氏

講習会では、群馬県農政部畜産課の大海さつき氏より「群馬県における畜産GAPの推進について」と題して、GAPを取り巻く情勢、各企業の対応、群馬県におけるGAPの推進についてお話をし

いただいた後に、公益社団法人中央畜産会衛生指導部の守永美夫氏に「農場H A C C PとG A P」と題して、農場H A C C Pの取り組みと合わせて畜産G A Pの取り組みや認証基準等のお話をいただきました。

農産物では10年前からG A Pへの取り組みが始まっており、既に一部の大手流通チェーンがG A Pの取り組みを求めています。家畜・畜産物は平成29年3月により基準書が公表されたところですが、G A P認証が東京オリンピック・パラリンピックへの食材調達基準になっており、これを機に更にG A Pへの取り組みが加速化すると予想されます。畜産GAPに興味がある方は、まず畜産GAP認証取得の準備段階として公益社団法人中央畜産会のホームページ上に公開されているGAP取得チャレンジシステムに取り組んでみてはいかがでしょうか。

今年度開催予定の研修会情報

畜産環境研修会

畜産臭気および平成30年度に改正された水質汚濁防止法等に関連した研修会を開催します。

■開催日時：平成31年2月12日（火）13：30～16：10

■開催場所：群馬県前橋合同庁舎6階大会議室（前橋市上細井町2142-1）

■講演（1）演題：日本型悪臭防止最適管理手法（BMP）による畜産臭気対策について

講師：小堤悠平 氏（畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所 研究員）

（2）演題：水質汚濁防止法の改正について

講師：河合貴士 氏（群馬県環境保全課水質保全係）

（3）演題：畜産試験場開発中の脱臭装置について（ネット式脱臭装置）

講師：茂木浩徳（群馬県畜産試験場飼料環境係）

■参加費：無料

■定員：100名（先着順・定員になり次第締め切りとさせていただきます）

■主催：群馬県、（公社）群馬県畜産協会

■申込方法：本会ホームページの「お知らせ」に掲載されている参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお申込みください。

肉用牛合同研修会

■開催日時：平成31年3月1日（金）10：00～15：45

■開催場所：J Aビル 大ホール

■講演：講師 矢田谷 健 氏（ジャパンカーフクリニック）

岡 章夫 氏（京都微研 営業支援室）

■参加費：1,000円/人

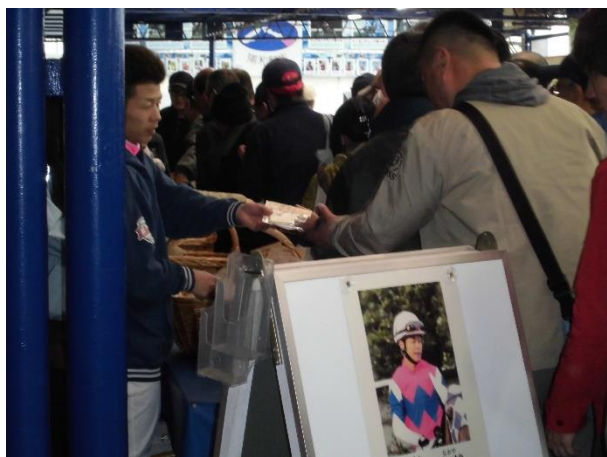
■主催：（一社）家畜改良事業団前橋種雄牛センター、全農群馬県本部、J A繁殖和牛部連絡協議会、J A肉牛肥育部連絡協議会、和牛改良組合連絡協議会、（公社）群馬県畜産協会

■申込方法：参加申込書に記入の上、FAXにてお申し込みください。

浦和競馬場 畜産フェアを行いました

地方競馬並びに畜産・畜産物に対する認識を深めるための催しとして、平成31年11月19日～23日の5日間にわたり、埼玉県、栃木県、長野県、本県の4県の協賛で浦和競馬場にて畜産フェアを実施しました。

本県では22日に県産チーズや馬に関するリーフレットの配布、ハムソーセージの特売を実施し大変な好評を得ました。また、4競走において本県畜産団体の冠レースを実施し、優勝馬への副賞授与を行いました。



記念品のチーズ配布



冠レース優勝馬との記念撮影

牛マルキンと豚マルキンが法制化

平成30年12月30日にTPP11が発行されたことにより、畜産経営の安定に関する法律が施行されました。

これに伴い、今まで肉用牛肥育経営安定特別対策事業が肉用牛肥育経営安定交付金制度に、養豚経営安定対策事業が肉豚経営安定交付金制度へとそれぞれ法律に基づいた制度に変わりました。

基本的な仕組みはこれまでのマルキンと同様ですが、補てん割合や国と生産者の拠出割合など拡充された部分もありますので、詳しく知りたい方は農水省のHPを見ていただくか、本会へお問い合わせください。

価格安定事業の状況 1

平成31年1月4日現在

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				交付単価(千円)					交付頭数(頭)					交付額(円)					交付戸数(戸)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
6	30	1～3	第4四半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4～6	第1四半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		7～9	第2四半期	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計																					

■肉用牛繁殖経営支援事業 支援金交付状況

区分				交付単価(千円)				交付頭数(頭)				交付額(円)				交付戸数(戸)			
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉		黒毛	褐毛	他肉		黒毛	褐毛	他肉		黒毛	褐毛	他肉	
	30	1～3	第4四半期	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
		4～6	第1四半期	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
		7～9	第2四半期	0	0	58.5		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
		計						0	0	0		0	0	0		0	0	0	

価格安定事業の状況 2

平成31年1月4日現在

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）補填金交付状況

業 対	平成30年度	品種区分	通常		生産者積立金免除牛		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
			頭数(頭)	交付単価(円)	頭数(頭)	交付単価(円)			
3	4月	概算	肉専用種	0	0	0	0	0	6/26
			交雑種	1,290	56,800	0	0	73,272,000	
			乳用種	141	34,200	0	0	4,822,200	
		確定	肉専用種					0	
			交雑種	1,290	60,800	0	0	78,432,000	
			乳用種	141	38,000	0	0	5,358,000	
	5月	概算	肉専用種	719	16,700	0	0	12,007,300	7/26
			交雑種	1,079	50,300	0	0	54,273,700	
			乳用種	141	19,700	0	0	2,777,700	
		確定	肉専用種	719	20,500	0	0	14,739,500	
			交雑種	1,079	54,300	0	0	58,589,700	
			乳用種	141	23,500	0	0	3,313,500	
	6月	確定	肉専用種	762	28,300	0	0	21,564,600	8/28
			交雑種	1,127	75,000	0	0	84,525,000	
			乳用種	136	21,900	0	0	2,978,400	
3	7月	概算	肉専用種	912	3,500	0	0	3,192,000	9/25
			交雑種	1,181	67,600	0	0	79,835,600	
			乳用種	127	22,600	0	0	2,870,200	
		確定	肉専用種	912	6,900	0	0	6,292,800	
			交雑種	1,181	71,000	0	0	83,851,000	
			乳用種	127	25,800	0	0	3,276,600	
	8月	概算	肉専用種	723	36,300	0	0	26,244,900	10/26
			交雑種	1,098	48,100	0	0	52,813,800	
			乳用種	149	22,900	0	0	3,412,100	
		確定	肉専用種	723	39,300	0	0	28,413,900	
			交雑種	1,098	50,800	0	0	55,778,400	
			乳用種	149	25,400	0	0	3,784,600	
	9月	確定	肉専用種	783	15,100	0	0	11,823,300	11/27
			交雑種	1,012	36,700	0	0	37,140,400	
			乳用種	151	40,200	0	0	6,070,200	
4	10月	概算	肉専用種			0	0	0	12/25
			交雑種	1,084	21,700	0	0	23,522,800	
			乳用種	149	30,300	0	0	4,514,700	
		確定	肉専用種			0	0	0	
			交雑種			0	0	0	
			乳用種			0	0	0	

■養豚経営安定対策事業（豚マルキン）

年次	月次	期別	補填金交付			
			単価(円)	頭数(頭)	総額(円)	戸数(戸)
30		4～6 第1四半期	概算	0	0	0
			確定	0	0	0
		7～9 第2四半期(第1含む)	概算	0	0	0
			確定	0	0	0
		計		0	0	0





みんなで行こう！ケイバ！

南関東4競馬場開催日程



◆B A O O 高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



旧高崎競馬場跡地を利用した場
外馬券売り場開催日には、高崎駅
東口から無料シャトルバスを運行

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階・5階
お問合せ：0270-23-0535



オートレース場内のモニターで
ゆったりと競馬を楽しめます

地方競馬 場外発売日程

📺 ナイター 📺 薄暮開催

2019年 1月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
川崎	川崎	川崎 SⅢ				浦和	浦和	浦和 SⅢ	浦和	浦和				船橋	船橋 SⅢ	船橋	船橋			大井	大井	大井 JpnⅢ	大井	大井			川崎	川崎	川崎 JpnⅠ	川崎

📺 ナイター 📺 薄暮開催

2019年 2月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
川崎			大井	大井	大井 SⅡ	大井 SⅢ	大井			浦和	浦和	浦和 SⅡ	浦和	浦和			船橋	船橋	船橋 SⅢ	船橋	船橋			川崎	川崎	川崎 JpnⅡ	川崎

📺 ナイター 📺 薄暮開催

2019年 3月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
川崎			大井	大井	大井 SⅢ	大井	大井			船橋	船橋	船橋 JpnⅡ	船橋	船橋			大井	大井	大井 SⅡ	大井	大井			浦和	浦和	浦和 SⅠ	浦和	浦和		

詳しくは南関東4競馬サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください。